

TKRプレミアムチーム会長のコラム

頑張っ、乗り切れば、アフターコロナの世界は、実は逆に素晴らしい世界に近づく？

コロナが、猛威をふるい、さらに広がりがつづきます。その中でも、私たち建築会社は、リモートワークなどの影響等で、都内ではなく、関東郊外に家を建てたいとか、自宅をリフォームしたいというお客様が逆に増えているので、ありがたいことです。

しかし、今、業界で、大変な事になりそうだという情報が出てきています。それは、アメリカでのコロナ対策の一環等で金融緩和により超建築ブームが、起こり、その為に、木材の供給が、追いつかず、コンテナ船の手配が、付かないとかで日本に入ってくるはずの木材が、ストップしてきています。へたをすると、木造新築着工が出来なくなるという話も出て来ています。国内でも木材の買い占めが始まっていて、ホームセンターでも木材が、店頭から姿を消しているとか。ぞっとする話しですね。

こんな時、私たちは、コロナのせいにするのではなく、どうしたら（どう考えたら）良いかを考える事が、重要と考えたいものです。

また、他業界のある友は、『日本の伝統的な在来木造工法とか言っておいて、今まで、他の国の安い材料に頼っていたからこんな事になるんじゃないの？』と、言っていました。

確かに日本は、世界中でも、先進国中では、森林資源割合が、高く、実は国土の面積の実に7割近くが森林なのです。なのに、少し生産コストが安いと、外国材を輸入し日本独自の木造在来工法などと言って住宅供給をして来ました。自国の山、森林を荒れ果てさせ、土砂崩れを引き起こし、花粉症までも増強させてしまいました。

本来、日本の材木（杉や桧や樺など）は、品質も良く、逆に世界に誇れる建材なのであります。更に木造建築は、鉄骨やコンクリートと違い、都市空間にCO2を閉じ込める役割もあります。そして、木材を切り出した後の山に新しく植林する事によって、若い木は、古い木より何倍もCO2を吸収します。



阿蘇山草千里にて (九州研修会)

最近ネットで『コロナウイルスからの手紙』という文章が世界中を出回っています。そこには、人類が、悲鳴を上げている地球に目や耳や心を向けなかったから、警告を出す為に、私（コロナ）が猛威を奮っているのだと。私たちも身近な山や森や自然にさえ目を向けてこなかったようです。

今回、コロナが去った後に、自国の木材が、普通に使われる時代が、きて欲しいし、コロナが、そんな時代に戻るきっかけを作ってくれるような気がしています。色んな意味で、コロナに打ち勝って、頑張っ生きて残れば、もしかすると、もっと、以前より素晴らしい時代に世の中が、なっていくようにも思えてきました。いや、思っ、信じて、頑張っ行きましよう。

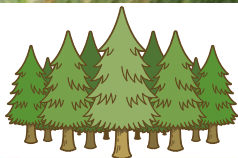
【文：中山 晴喜】



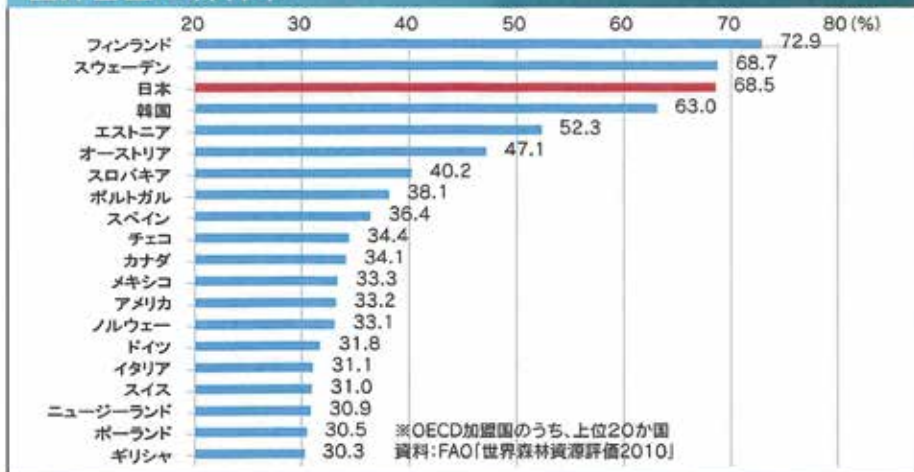
阿蘇山草千里にて (九州研修会)



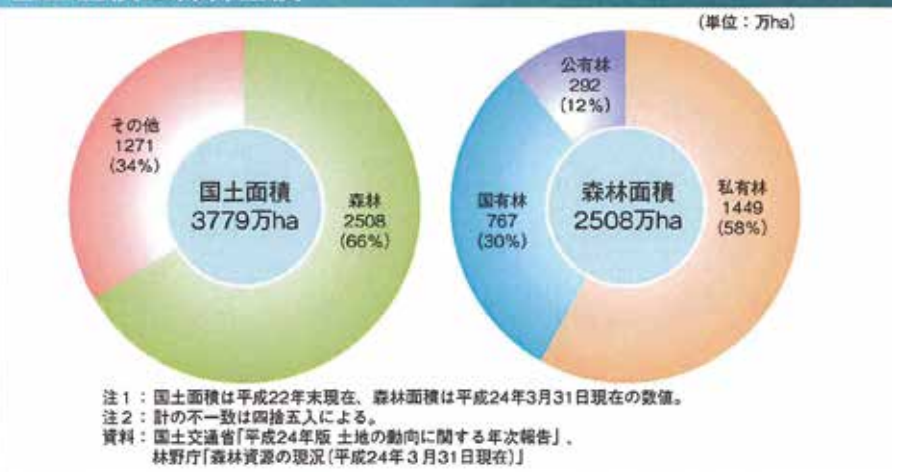
熊本地震を視察 (熊本城)



世界各国の森林率



国土面積と森林面積

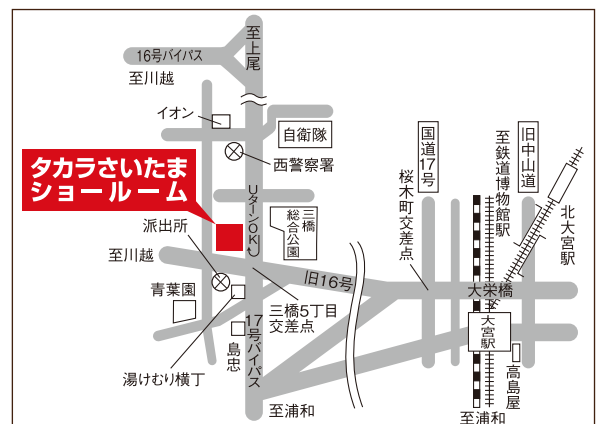


TKR プレミアムチームが、お客様の暮らしをサポートします！



埼玉県中央部エリアにある6つの工務店で構成されている組織で、タカラパートナーショップの中でも、お客様へのより良い施工サービスの実現、提案力、技術の向上のために、日夜協力し、活動・運営しています。

タカラスタンダードの商品の施工をどの工務店に依頼しようか、ご検討中のお客様。ぜひ、我々TKRプレミアムチームが、あなたのお役に立たさせていただきます。



詳細はホームページをご覧ください
<https://tkr-premium.com/>

